

## 気候変動で危機に直面する

諏訪湖の御神渡り  
おみわた

長野県にある諏訪湖は、冬になると全面結氷することで知られます。その湖面に現れる氷の隆起「御神渡り(\*)」は、神様の通り道と伝えられる神秘的な自然現象です。しかし近年は暖冬の影響で出現しない「明けの海」が8年連続となっています。自然の変化と、それを間近で見つめてきた人々の営みについてお伝えします。(\*)神事においては「御渡り」と表記されます。

「加速する地球温暖化  
と将来予測」

三上 岳彦  
成蹊気象観測所 所長、  
東京都立大学 名誉教授

「明けの海が続く、  
諏訪湖の御渡り」

宮坂 清  
八剣神社 宮司

國學院大學を卒業後、京都の伏見稻荷大社、諏訪大社、手長神社に奉職し、2020年より現職。趣味は歴史資料の読解と伝統的な横笛である篠笛の演奏。

2026 11.14 [土] 13:00-15:00

場 所 成蹊学園本館大講堂

東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

申 込 右下のQRコードよりお申込み下さい

参加費 無料

定 員 500名 (先着順)

主催：成蹊学園サステナビリティ教育研究センター

お問い合わせ Tel：0422-37-3480 / E-mail：ercs@jc.seikei.ac.jp

